

1 講：オリーブ山（園）-永遠のを持たなければ-
待ちなさい(使 1:1-8)

イエスはオリーブ山(園) 40 日間、神の国のことを説明。聖霊に満たされれば力を受けて証人になる。皆さんは永遠のを持つべき。イスラエルは 6 回のわざわいを受け、しばらくしたら 7 回目のわざわいが臨んで流浪の民として散らされる。サタンの 12 の戦略が私たちの脳に刻印されて、たましいの中に刻印されているので、なくなる。Ⅱコリ 5:17 でキリストが来られて解決する再創造の働きでこそ可能

- 序論
1. 伝 12:11 2. イザ 22:22-24
3. Ⅱコリ 10:3-5 神様みことばが私たちの中に入って来て、すべての強力な要塞を打ち壊す。サタンのやぐら、私たちの誤った考えを崩してしまふ。

△みことばのように、神様のみことばがよく打ち込まれた釘のようであるべき。使 1:14 に神様の契約を持って集まって、ひたすら祈りに専念したのだ。永遠のこと、約束されたことを待ちなさいということだ。

- 本論
1. 永遠の契約を味わって待つべき。カルバリの丘で終わらせて、オリーブ山で答えを与え、マルコの屋上の部屋に行きなさいと言われた。
1) 24 味わって待ちなさい。すべてのことは、脳から始まるので、脳を生かす長い呼吸をしなさい。
2) 必ず 25 の答えが来る。これが神の国のことが成り立ったということ
3) 必ず永遠ということが来て、作品になる

2. 永遠の内容を待ちなさい
1) 神様が与えられた 7 つのやぐらが刻印されるように待ちなさい。
2) 7 つの旅程が根をおろすように祈りなさい。
3) 7 つの道しるべが完全に体質になるように祈りなさい。

△まことの答えを受けようとするなら、神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、それに加えて与えられる。

3. 約束されたことが来るときまで待ちなさい
1) イエスが直接おっしゃったこと三つ
(1) ただ (2) 唯一性 (3) 再創造
2) 神様の方法で味わって待つ
(1) 制限的集中 主が与えられたことにだけ集中
(2) 答えが見えれば選択的集中
(3) すべてのことが答えに変わるワンネス集中
3) 237、5 千種族が見えるほど答えが来て、三つの庭が見える。金土日時代が見える。

△金土日時代があらゆる事を左右するだろう。エリート、墮落、学生たちを誘惑する時間がここからすべて出て来るだろう。レムナントを呼んで何を待たなければならないのか、何の答えから受けるべきなのかを教えれば良い。

- 結論
1. RT7 2. ヘブ 11 章の人々 3. 初代教会の人々と同じ答え
△重職者、レムナント、教役者はキリストが与えられたことを待ちなさい。永遠のこと、永遠の内容を握って深く祈るほど良い。これから、神の国のことが成されるだろう。

2 講：正確な契約-「集中しなさい-ただ-永遠の作品」
(使 1:14, 2:1-47)

- 序論
1. 重要集中
1) 契約は神様が与えられたことを握るべき(制限)
2) 神様が答えられたこと、それが選択された集中。世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいますと言われた
3) 神様は結局は、すべてを生かす答えを与えられる。これがワンネス集中

2. 集中は一致すること
1) 三位一体の神様が 2) 私とともに 3) 御座の力で 4) 神の国のこと、この部分が世の中にある。これが一致することが集中

3. この集中は、なぜしなければならないのか
AD70-1948 この中に福音を持っていたとも少数 0.1%の人々が世界を生かした。三位一体の神様が御座の力に私とともにおられ、神の国のことを成し遂げられる
313-1517 AD313 から 1517 年まで福音が完全に崩れ始め。このとき、少数の福音を持っている、ただの人々が世の中を変えた
1517-2024 1517 年から 2024 年。今、教会が門をみな閉ざすので、暗闇の世界に福音を伝えなさいと皆さんを呼ばれた。
2030-2080 レムナントは 2030～2080 の主役で、私たちはこれを準備させること

△神様が与えられる正確な契約を握って集中すれば、必ず永遠の作品が出て来る。

- 本論
1. 永遠の作品を作るのに集中しなければならない流れがある。必ず証拠を握って行くのだ
1) 創 3:15、出 3:18 女の子孫がサタンの権威を打ちこわす力によってだけ世界福音化
2) イザ 7:14 インマヌエルの力によってだけ捕虜から解放
3) マタ 16:16 サタンはキリストの奥義を持った者を絶対に触ることができない。

2. 使 2 章でどんな内容に集中したのか
1) 三つの祭り(使 2:1) 2) 三つの庭(使 2:9-11)
3) 使 2:42 に使徒の教えを受けて、ただ祈りに専念し、互いに交わりをして、ただ祈りに専念した。集中という金土日時代

△今日、契約を受けた皆さんは、考えを少しは直すべき。世界福音化の力は人にあるのではない。

3. 結果
1) 使 3:1-12 ペテロを通して足の不自由な人を立て起こした
2) 使 7:1-60 ステパノの死。最高の影響を与えてアンティオキア教会まで建てられる
3) 使 8:4-8、8:26-40 サマリア、エチオピアの宦官

△皆さん一人の祈りが世界を動かすことができる。御座の力は時空を超越するからだ。新しく始めなさい。

- 結論
金曜日には本格的な癒やし運動をして、土曜日は世界を疎通するメッセージを握って(サミット)、聖日は答えを受ける日

3 講：永遠の遺産-挑戦しなさい
(使 11:19)

ヨハ 6:63 に、生かすのは霊だ。神の国が臨むことが先だ(マタ 6:10、33、10:7、12:28-30、使 1:3)。パウロは会堂で神の国を説明(使 19:8)。Ⅱコリ 1:2 にも、たましいが幸いを得ることが先だ。

- 1 講：神様が与えられる永遠の受け継ぐことをあなたのことにしなさい。待ちなさい(使 1:1-8)
2 講：永遠の作品を作りなさい。契約を握って集まって集中(ただ)したがマルコの屋上の部屋の働き(使 1:14、2:1-47)
3 講：永遠の遺産を残して挑戦しなさい(使 11:19)

□序論_霊的世界は神様の世界なので無限大だ。

1. 霊的に受け継ぐこと
1) 神様の 7 つのやぐらを持っている人だ(神様と疎通)
2) 7 大旅程は神様の計画を悟った人が行く。
3) 7 つの道しるべは神様のみことばが成就する所
2. 霊的作品 1) 三つの祭り 15 か国集い 2) 三つの庭 集まって集中祈り
3) 金土日時代
3. 霊的遺産永遠のやぐらを建てなさい
1) 237 か国を生かすほど 2) 5000 これが神様みこころ
3) 教会の外に 1 千やぐらを建てる準備

霊的状态が優先だ。霊的サミットに先になってこそ世界征服が可能。霊的サミットに先になった 7RT

□本論

1. パウロ(チーム)-受けた遺産
1) 使 9:15、19:8 イスラエルと異邦人、王の前に立てる選びの器。神の国証し
2) ペリ 3:8-21 永遠の遺産を握った
3) ロマ 16:25、26、27 世々にわたる前、今、とこしえまである契約
2. 使用した遺産
1) 使 13:1-4、5-12 聖霊の導きを受ける祈り。不治の病の癒やし
2) 使 16:6-10、16:15、16:16-18、16:19-40 門がふさがったが、神様がマケドニアでリディアに会うように。その後、不治の病を癒やして刑務所で働き
3) 使 19:1-7、8-20、21 マルコの屋上の部屋の働き体験、ティラノで病人癒やし、ローマも見なければ

3. 伝達した遺産(会堂で説明)
1) 使 17:1 キリストの当為性 2) 使 18:4 安息日、礼拝、祈り
3) 使 19:8 神の国臨在が真の答え

- 結論_24 祈り、25 答え、永遠の作品
1. 237、5000 種族を癒やし、サミットにすること
2. 教会の中に三つ庭を
3. 金土日時代を開いて本当に力を受けること
音楽チーム 体育チーム(サッカー) 癒やしチームを作って 237-5 千種族へ
1. 無限世界の力を受ければ、ただ、唯一性、再創造が出てきてシステムになる。
2. 時空超越する力が生まれて、祈りで 237、5 千種族とつながる
3. 空前絶後の答えが来れば挑戦